

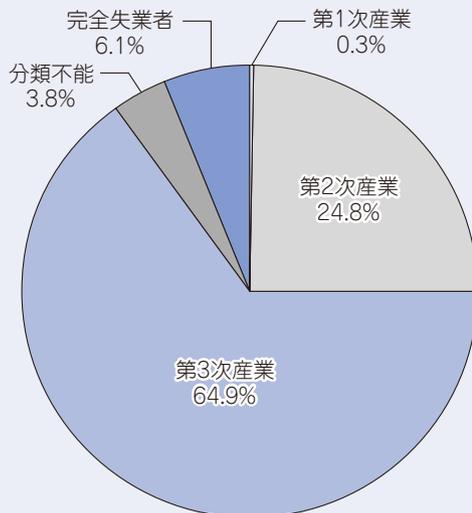


施策37 雇用の促進

現状と課題

- 今日の未曾有の経済不況により、雇用対策が大きな問題となっています。雇用問題は、経済状況により左右されるとともに、市単独で対応することが難しいことから、国や東京都の施策と連携して対応を図っています。また、ハローワーク青梅とは共催で就業支援（就職面接会等）を実施し、商工会では経営者に対して就労環境改善への情報提供を実施しています。
- 市民の生活安定を図るため、引き続き関係機関と連携して雇用の確保や就労支援、職業訓練などの充実に努める必要があります。また、事業所が安定した経営が行えるよう、支援することが求められています。

〔産業別就業者数〕



(平成17年10月1日現在)

単位：人

15歳以上人口(労働力状態不詳含む)	52,902
労働力人口	30,979
就業者	29,089
第1次産業	108
第2次産業	7,686
第3次産業	20,108
分類不能	1,187
完全失業者	1,890

出典：「東京都区市町村年報」

施策の方向

ハローワークや商工会など関係機関と連携し、市民の生活安定や正規雇用に向け、雇用対策や就労支援対策の拡充を図るとともに、経営者を支援することにより地域の産業振興と雇用の安定を図ります。

基本事業と取組

1 雇用の促進

- 就業支援や雇用対策の拡充を図るため、ハローワークなど関係機関との連携を図り、情報提供などの対策を推進していきます。また、国や東京都の情報収集に努め、就業者の生活安定や就業希望者への就業機会の創出を図っていきます。
- 安定した雇用に努める経営者を支援するため、商工会など関係機関との連携を図り、対策の充実を図っていきます。

成果指標

	指標の内容	現状値	目標値 (平成26年度末)
指標1	就職説明会の実施数	年2回 (H21)	年4回

主な事業

基本事業	前期 (平成22～26年度)		後期 (平成27～31年度)
	主な事業(取組)	事業費(千円)	主な事業(取組)
雇用の促進	商工会、ハローワーク、東京しごとセンターとの連携		

第③節 都市農業の活性化

施策38 都市型農業の振興

現状と課題

- 行政面積が小さいうえに、市域のほとんどが市街化区域に指定されているため、平成21年1月現在の市内農耕地面積は15.14ha、経営耕地面積は10.88ha、農家戸数は63戸、農業従事者は101人と26市で一番少なく、農地は市域の0.02%に過ぎない状況です。市街化が進むにつれて地価が上昇し、また、後継者不足、相続に伴う転用などにより宅地化され、農地の減少が進んでいます。
- 農地は、緑の資源に位置づけられるほか、防災面の機能も有しており、計画的な農地の保全を図るための公的支援が必要とされています。また、生産緑地への指定を希望する農家もあることから、生産緑地の追加指定の実現に向けて農業振興計画を策定する必要があります。
- 農業に親しむ場として、家庭菜園を市民に提供しています。産業祭で農産物直売と地場野菜のPRを実施しているほか、農業者と市民のふれあい、都市農業や農地保全への理解、地産地消を意図した「季節野菜の収穫体験と料理教室」を開催しています。また、地産地消の一環として、小学校給食で市内農業者が生産した野菜を使用しています。今後も関係機関と連携し、更に、食育の推進とも併せた取組を進めていくことが望まれます。

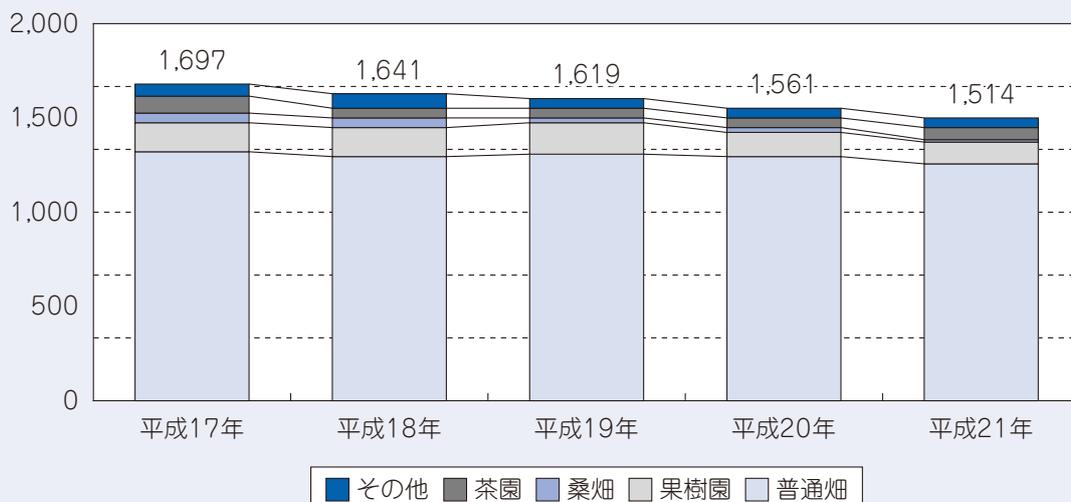
〔本項目に関連する市の関連計画（主要計画）〕

◇ 福生市都市計画マスタープラン

〔農耕地面積〕

（各年1月1日現在）

（a〔アール：100m²〕）



出典：「福生市事務報告書」

施策の方向

農地の保全を図り、地産地消を含めた地場産農作物の消費拡大を図ります。また、農業経営の安定と後継者の育成を図り、都市型農業の振興を図ります。

基本事業と取組

1 都市型農業の振興

- 農業振興計画の策定に取り組み、生産緑地の追加指定を推進するとともに、農地保全に向けた取組を支援していきます。また、農業経営や後継者の育成を図るため、農業者の交流や研修講習会を実施していきます。
- 「花いっぱい運動」など市民の緑化活動との連携を図り、種苗育成などの取組を支援していきます。
- 地場産野菜の情報提供とPRに努め、地産地消の推進を図っていきます。また、小学校における学校給食での地場産野菜の使用を拡大していきます。
- 農業に親しむ場を提供するため、家庭菜園の確保に努めていき、また、体験型農園の開設を検討していきます。

成果指標

指標の内容		現状値	目標値 (平成26年度末)
指標1	生産緑地地区指定数	53件 (H20)	57件

主な事業

基本事業	前期 (平成22～26年度)		後期 (平成27～31年度)
	主な事業（取組）	事業費（千円）	主な事業（取組）
都市型農業の振興	農業振興計画の策定		
	地場産野菜の情報提供		
	学校給食での地場産野菜の使用		
	草花苗生産委託	36,300	
	家庭菜園の確保	1,470	
	体験型農園の検討		

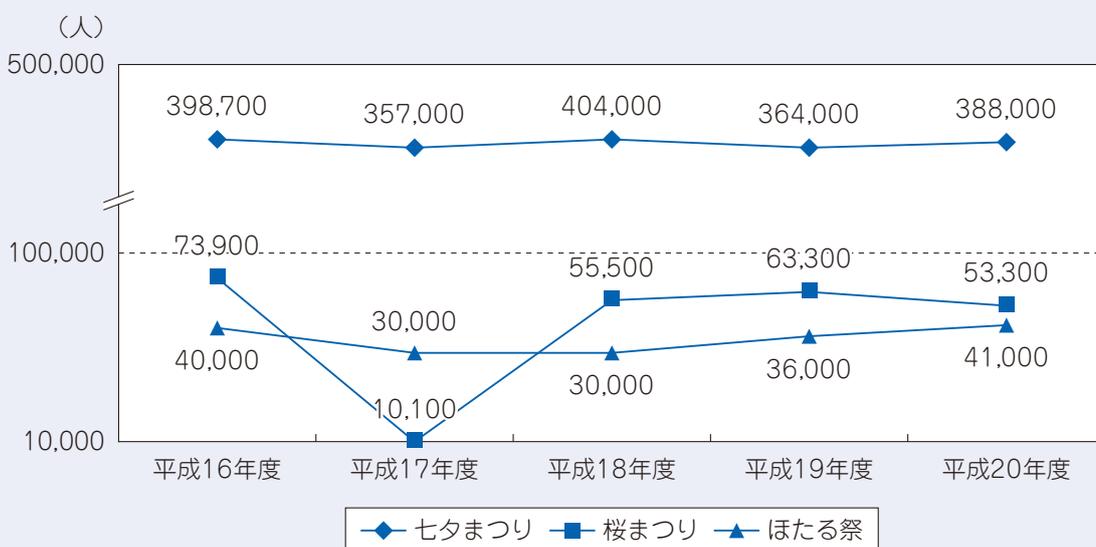
第4節 人と人が行き交う交流環境の充実

施策39 都市型観光の振興

現状と課題

- 福生市の観光振興を積極的に推進する団体として、平成16年6月に福生市観光協会が発足しました。また、市では観光の振興を図るため、西多摩8市町村で西多摩地域観光案内冊子を発行するなど、広域的な観光客の誘致に努めるとともに、市内の観光資源を活用し、映画やテレビの撮影場所の情報提供など撮影支援を行い、地域活性化、文化振興、観光振興につなげていくためのフィルムコミッション事業（映画等の撮影やロケの誘致を行う機関）を推進しています。
- 平成22年度に第60回を迎える七夕まつりは、これまで多くの商店や市民の協力により実施され、市外からも多くの来訪者を迎えての一大イベントとなっています。また、桜まつりや、町会が開催するほたる祭も市内外から多くの来訪者があり、重要な観光資源となっています。
- 市内には、歴史的資源で国指定史跡の玉川上水、造り酒屋、横田基地沿いの国道16号沿線の商店街など異なる要素の観光資源が存在しています。これらの資源を市内外に広く周知し、市内への来訪者の増加や地域の活性化を図ることができるよう、観光振興の充実に努めていく必要があります。

〔「七夕まつり、桜まつり、ほたる祭」の人出数〕



出典：「福生市事務報告書」

施策の方向

地域の活性化と振興を図るため、福生市観光協会をはじめ、民間企業や市民などと協力・連携し、市内の観光資源を積極的に活用した観光事業を推進します。

基本事業と取組

1 都市型観光の振興

- 観光振興を推進する福生市観光協会などの活動を支援し、連携を図っていきます。
- 福生の特徴ある行事や福生自慢の物づくりなど、新たな魅力づくりの活動を支援していきます。
- 市の観光資源を市内外に広くPRするとともに、地域資源を活用した観光事業を推進し、集客を図っていきます。
- 観光交流による誘客・集客を地域の活性化につなげる取組を推進していきます。
- 民間企業や市民との協力によるフィルムコミッション事業を更に充実していくとともに、事業としての位置づけを検討していきます。

成果指標

指標の内容		現状値	目標値 (平成26年度末)
指標1	七夕まつり・桜まつり・ほたる祭来場者数	475,400人 (H21)	500,000人

主な事業

基本事業	前期 (平成22～26年度)		後期 (平成27～31年度)
	主な事業(取組)	事業費(千円)	主な事業(取組)
都市型観光の振興	福生市観光事業補助	27,100	
	七夕まつり委託(再掲)	148,400	
	フィルムコミッション事業の充実	300	

